

新年餅つき山行
景信山

実施日 2011年1月23日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 馬場 清士
 参加者 上野キヨ、佐藤すみ江、渡辺清、
 佐藤金治、一柳昭、山口駿三、
 小池述史、馬場清士、涌井良明、
 大村巖、小松勲、小松月子、安
 田三恵子、荻野智恵子、渋谷賢
 寿、渋谷京子、柴田正喜、中村
 友子、伊藤久雄、山口美知子、
 石原勝正、宇野輝代、岩森明克、
 小林千恵、宮下良之、長浜隆行、
 長浜あゆみ 計 27名
 費用 バス 440円(高尾⇄小仏)
 タイム 高尾駅北口(9:12バス)小仏
 (9:40~9:50)小仏峠(10:45~10:
 55)景信山(11:40~13:00餅つ
 き)高尾駅(15:30)

天気快晴、こぶし会として2回目の餅つき山行、27名の参加となった。今回からこぶし会としてのイベントとして実施することとなり、食材等の費用は会で負担することとなった。

高尾駅北口のバス停は、小仏方面、陣馬山方面に向かう登山者で大賑わいである。2台のバスは満員で発車した。

バスは旧甲州街道に入り、日影沢沿いに里山の街道を上がっていく。少し早いですが、高尾の梅林の所々に白梅、紅梅が咲き始めている、ロウバイの黄色も早春を感じさせる。



バス停で身支度を整え舗装された林道を登山口に向かう。登山口に着くころ体も温まってき

た、ザレた登山道を登っていくと小仏峠で。八王子の市内が一望でき、新宿副都心、池袋方面が見渡せる。小仏峠から景信山まで1.5キロ多少の急登もあるが、約40分位の行程だ。

景信山の山頂は予想した通りの賑わい



である、冬の山頂からの眺めは素晴らしい、遠くに東京スカイツーも望める。早速餅つきが始ま

る、男性軍は餅つき、女性軍は餡、きな粉、ネギ、ゴマ、大根おろしの準備にかかる。つき手



の男性とかえし手の女性のタイミングが合ってきたころ、15分ほどで3升の餅がつきあがる。

餡にきな粉にと、あっという間に売り切れ、二臼め2升をつき始める。つきたての餅の美味しいこと、何もつけなくても甘くて美味しい。

風も無く晴天の中、餅をつき、食べ、語り、和気あいあいと過ごした。帰りも来た道を小仏バス停まで戻り解散、バス組と高尾駅まで歩く組に分かれて帰途についた。

楽しい一日でした。また来年お会いしましょう。

(記・馬場 清士)
(写真提供・涌井 良明)

